

(参考様式2)

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年3月31日

計画の名称	2	名神・新名神をはじめとする国幹道と府内幹線道路を結ぶ交通機能ネットワークの形成		
計画の期間	平成21年度～平成25年度（5年間）		交付対象	大阪府
計画の目標				

大阪、関西の経済の活性化を目的として、名神・新名神高速道路等国幹道に指定されている高速幹線自動車道と大阪府管内の主要幹線道路を接続することにより、大阪府と他圏域の安定した物流路線を確保し、地域の基幹ネットワークの形成及び、交通の円滑化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）				
道路整備を推進し、名神・新名神高速道路等国幹道と府内幹線道路を接続させ、安定した物流ルートを確保することにより、関西経済の活性化を促進するとともに、都市間の格差縮小を図る。				

アウトカム指標の定義及び算定式					アウトカム指標の現況値及び目標値			備考		
国幹道と管内主要幹線道路を結び、大阪と他圏域との物流を促進し、地域産業の活性化に寄与する物流ルートの確保及びこれに伴う企業立地の促進					当初現況値	中間目標値	最終目標値			
										(H21当初)
企業立地率 【彩都地区における、企業立地面積/誘致施設対象用地】					12%	54%	91%			
確保率 【連絡道路のうち、大型貨物車（※）が通行可能な道路延長/国幹道と府内幹線道路との連絡に必要なルート長】 ※IS0規格の国際海上コンテナが輸送可能な大型貨物車（25t車）					6%	18%	35%			
全体事業費	合計 (A+B+C)	35,263 百万円	A	35,263 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 地方道路整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接/間接	事業主体	道路種別	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万)	備考
												H21	H22	H23	H24	H25		
2-A1	道路	一般	大阪府	直接		国道	改築	0.55	(国) 423号(箕面道路)	バイパス L=0.55km	箕面市						2,400	
2-A2	道路	一般	大阪府	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 茨木摂津線・大岩工区	バイパス L=1.9km	茨木市						2,425	
2-A3	道路	一般	大阪府	直接		国道	改築	0.55	(国) 170号・高槻東道路	バイパス L=3.7km	高槻市						3,995	
2-A4	道路	一般	大阪府	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 大阪高槻京都線・3工区	バイパス L=0.3km	高槻市						70	
2-A5	道路	一般	大阪府	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 伏見柳谷高槻線・高槻ICアクセス	バイパス L=3.9km	高槻市						9,229	
2-A6	道路	一般	大阪府	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 伏見柳谷高槻線・1工区	バイパス L=0.5km	高槻市						290	
2-A7	道路	一般	大阪府	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 枚方亀岡線・1工区	バイパス L=0.4km	高槻市						710	
2-A8	道路	一般	大阪府	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 西京高槻線	バイパス L=1.2km	高槻市						514	
2-A9	道路	一般	大阪府	直接		都道府県道	改築	0.55	(一) 安満前島線	現道拡幅 L=0.35km	高槻市						110	
2-A10	街路	一般	大阪府	直接		S街路	改築	0.55	3・2・211-28 茨木箕面丘陵線	バイパス L=1.3km	茨木市						800	
2-A12	道路	一般	大阪府	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 伏見柳谷高槻線・歩道整備	現道拡幅 L=0.2km	高槻市						200	
2-A13	道路	一般	大阪府	直接		国道	改築	0.55	(国) 423号・川尻地区	現道拡幅 L=0.3km	豊能町						50	
2-A14	道路	一般	大阪府	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 茨木亀岡線	道路改築 L=4.9km	茨木市						1,000	
2-A15	道路	一般	大阪府	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 余野茨木線	バイパス L=2.1km	茨木市						2,500	
2-A16	道路	一般	大阪府	直接		都道府県道	改築	0.55	(主) 枚方富田林泉佐野線・1工区	バイパス L=1.1km	寝屋川市						10,770	
												合計	35,263					

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・大阪高槻京都線【3工区】(H20.5)、枚方亀岡線【1工区】(H23.6)、茨木箕面丘陵線(H27.3 暫定2車線)、茨木亀岡線(H26.4)の供用開始など、新名神高速道路の供用を見据え、国幹道と府内幹線道路の接続を強化することにより、大型車が通行可能な延長が増えるなど安定した物流ルートが確保されるとともに、(仮)茨木北IC近接の彩都地区において企業立地が順調に進捗している。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①企業立地率	最終目標値	91%	目標値と実績値に差が出た要因	一区画について企業立地しなかったが、H27年度に立地を完了。
		最終実績値	76%		
	指標②確保率	最終目標値	35%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	34%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> ・彩都地区だけでなく、(仮)箕面IC近接の箕面森町においても多数の企業が進出意向を示しており、(仮)高槻IC近接の成合南地区では企業誘致を見据えた区画整理事業の準備が進められている。 			
3. 特記事項(今後の方針等)					
<ul style="list-style-type: none"> ・完了していない事業については、次期計画(事業実施期間H26~H30)において引き続き工事進捗を進め、新名神高速道路(神戸~高槻間)の平成28年度の供用にあわせ供用させるなど、早期の効果発現に努める。 国道423号(箕面道路): H27.7 現道付替区間開通済み ・平成24年4月に新名神高速道路の八幡~高槻間が事業化となっており、新名神高速道路の全線供用により一層の経済効果や利便性の向上が見込まれる。 					